

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホームひだまり

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：2025年5月30日（金）14時～15時

会場：特別養護老人ホームひまわり園 大会議室

出席者
（人数）

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	1人	高齢者あんしん支援 センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	0人
その他			3人

（議題）

1. ひだまり入居者状況について（5月28日現在）

- ・入居者数～18名
男性4名・女性14名
※入居 1名（要介護2・女性・92歳）5/6
※退去 1名（要介護3・男性・95歳）4/30 入院長期化のため
※入院 1名（要介護3・男性・95歳・心不全悪化）3/24～
※外泊 1名（要介護3・女性・88歳）4/4～7・18～21・5/2～7・16～19・29～6/2
- ・平均介護度～2.89
要介護1（2名）要介護2（4名）要介護3（8名）要介護4（2名）要介護5（2名）
- ・平均年齢～87.86歳（男性86.17歳、女性87.06歳）
- ・移動手段について
歩行（杖歩行含む）7名
シルバーカー・歩行器5名
車椅子6名（うち介助6名）
※歩行器使用の方のうち、3名は見守りが必要。
※新入居の方は自立歩行。
- ・食事の摂取状況
自立13名・見守り0名・要介助5名
※要介助は2名が全介助、3名が一部介助。その他にも、日によって、声掛けや一部介助が必要な方がいる。
- ・自分の部屋の理解
分かる9名・たまに忘れる3名・分からない0名
※自力移動可能な12名対象とする。
※新入居の方は徐々に覚えてきておられる。

2. 活動報告（4月～5月）（スライドを使用して活動の様子を紹介）

- お花見（4月1日・2日）：長浜神社・湖陵運動公園・十楽寺
- ひだまり内でのお花見（4月17日）：施設内の八重桜の下でのお茶会
- お好みメニュー（4月9日：いなり寿司）（5月15日：焼うどん）
- 新人職員研修（4月4日）：1名参加
- 先輩後輩研修（5月9日）：入職3年目の職員1名参加

3. 2025 年度活動予定

- ・花見（4 月）
- ・遠足（6 月・10 月）
- ・神西湖花火見物（8 月）
- ・敬老会（9 月）
- ・クリスマス会（12 月）
- ・忘年会（12 月）
- ・新年会（1 月）
- ・節分（2 月）
- ・ひだまりカフェ（7 月・11 月・3 月）
- ・お好みメニュー（毎月第 2 水曜日）

研修計画

- ・法人主催の各種研修への参加
- ・全職員対象の園内研修（6 月から開始予定）
- ・外部研修への参加

4. ひだまりの日常の様子（スライドを使用して報告）

- 家事（洗濯物たたみ、調理など）
- アクティビティ（風船バレー、体操など）
- 個別活動（パズル、点つなぎ、塗り絵など）
- 面会
- 入居者同士の関わり（会話、テレビ視聴など）

【意見交換より】 ※各報告途中での意見・補足等も含む

（ひまわり園副施設長）

ひだまりの現在の入居者の状況はおおむね安定しており、順調に運営されています。しかし、食費や電気代の上昇により、収入面では必ずしも安定しているとは言えません。4 月から食費、光熱費を若干値上げしております。ここで報告させていただきます。

（ひだまり）

活動予定をお示ししましたが、こういった活動の内容をご家族さんに伝える方法として「ひだまり通信」を作成し、2 か月に 1 回程度、活動の様子を報告しております。

（ひまわり園副施設長）

研修にも力を入れております。直近では 6 月 11 日に歯科研修会を予定しています。市内の歯科医師に講師をお願いしております。職員向けの内容ではありますが、地域の方にも参加していただくことは可能ですので、ご希望がありましたら是非ご参加ください。

（あんしん支援センター）

スライドを見ていると、皆さん穏やかに生活されている様子がよく分かります。一人暮らしの方ですと、寂しいと言われる方がいるのですが、こちらで寂しいと言われる方はありますか。

（ひだまり）

寂しいと言われる方はおられません、時々、家に帰って〇〇に会いたい、というようなことを言われることはあります。ひだまりが自分の居場所であることは分かっておられるのですが、家でないことも分かっておられます。

（あんしん支援センター）

写真を見ると、とても楽しそうにしておられ、入居者の方同士いい感じに見えます。

（ひだまり）

いろいろな日がありますので、とても楽しいと言われる時もあります。

自分で納得して、入居されている方が多いのですが、そんな方でも、たまには家に帰ってみたいよ、と言われます。そういった方の中には、毎週のように息子さんと一緒に自宅に短時間ですが帰られる方もあります。家の様子が気になるだろうということは息子さんも分かっておられますので、そういった支援をされています。

（あんしん支援センター）

外泊のことでお聞きします。この方は家に何人も見てあげられる方がおられますか。

（ひだまり）

娘さん一人です。入居前は、平日はデイサービスを利用しておられ、週末は娘さんと過ごしておられまし

た。ただ、その平日が少しずつ難しくなって来られ、少し早いような気もすると言っておられましたが、空いたタイミングで入居を決められました。同じように外泊して週末ご自宅で過ごされても良いことを伝えたと、それは嬉しいです、とのことで、入居後も週末一緒に過ごされています。

排便コントロールをしている方なので、情報共有はしっかりしています。

外泊から帰園後は、やや混乱もあり娘さんを探されることもあります。ただ、ずいぶん外泊を繰り返しておられますので、このリズムに慣れてこられつつある印象です。

(地域住民代表)

スライドを見ると、皆さん表情がありますけど、認知度はそんなに高くないですか。家族のことが分からなくなって来たりして、表情が出なくなるのではないかと思いますのですが。

(ひだまり)

ご自分の名前が分からないこともありますし、ご家族さんのことが分かれられない時ともありますが、皆さん多かれ少なかれ表情はあります。

(地域住民代表)

こういった施設に入ると、刺激があって、進行が遅くなる様子があるんですね。

(ひまわり園副施設長)

施設がすごく刺激が多いわけではないですが、今までやっていた生活を維持する、役割を持つことで、すべての脳の機能が維持されるわけではないですが、進行のスピードを遅らせることには役立つと考えます。スライドにあったような穏やかな姿というか、楽しかったという思いが1分でも2分でも残ることで、脳の活性化になりますので、ホルモンの分泌もあり少し機能が維持されやすいというのはあります。

そういった意味でも、紹介したような活動はいい刺激となっています。

孫さんやひ孫さんの面会があることで、皆さんにとって昔の子育て時代を思い出したり、いい刺激になっておられると思います。

(地域住民代表)

今も面会時はマスク着用ですか。

(ひだまり)

来ていただく方には、マスク着用をお願いしています。写真撮影時には外していただいたりもしています。

(ひまわり園副施設長)

当園での感染症対策員会で、職員を含めマスクを外してはどうかという話が出ています。他県ではありますが、大学病院でも職員の判断にまかせるというところが出てきています。認知症の方は、表情から判断されることもありますから、マスクをしていると得る情報も少なくなると考えられます。利用者の方のためにはマスクはない方がいいと思いますが、感染症対策の面からすると、なかなか難しいところです。

(ひだまり)

面会制限させていただいていた頃より、入居者さんの表情は豊かになったと感じます。

(有識者)

以前より面会に来られる方が多くなれたと思って写真を見ていました。

(ひだまり)

ご家族で外出される方も増えました。

(有識者)

私どもの施設でも、今年はお祭りも開催しますし、どんどん外出するよう言っています。ただ、自己防衛のため、マスク着用はするよう言っています。

(入居者家族)

穏やかに暮らしているのがよく分かります。

(地域住民代表)

話は違うと思いますが、あんしん支援センターとはどこにありますか。

(あんしん支援センター)

出雲市の社会福祉協議会の中にあります。高齢者の方の総合相談窓口になっています。全国的には、包括支援センターという名前です。介護予防関係の仕事もしています。かわりがない方は知らないという方が多いです。

次回案内

日時…2025年7月25日(金) 14:00~15:00

場所…特別養護老人ホームひまわり園